業務デザイナー機能説明書 利用表定義編

目次

利用表定義	3
利用表定義とは	3
利用表定義の検索	
利用表定義の設定	5
利用表定義の削除	12
利用表定義のエクスポート	13
利用表定義インポート	15

利用表定義

外部データベースのテーブルやビューのデータを本システムで利用する ための設定を行う機能です。

利用表定義とは

外部データベースのテーブルやビューのデータを本システムで利用するために、専用の別名を付ける機能です。ここで設定する利用表は以下の用途として使用されます。

- データを抽出する([データ抽出定義編]・[データ抽出編]をご参照ください。)
- フロー連携定義のデータベース書込み設定の連携先設定([フロー連携定義編-データベース書 込み設定]をご参照ください。)ただし、書込み可能なデータベースは、業務デザイナー以外と なります。

利用表定義の検索

1. [データ管理] メニュータブの [利用表定義] ボタンをクリックする

【利用表定義一覧画面の検索条件エリア】



【項目の説明】

	項目名	型	桁数	説明
1	接続先	-	-	接続先をリストより選択し、検索します。
2	クリア/接続	_	-	すでに設定されている接続先をクリアします。クリアすると、[接続] ボタンに変更され、接続先で選択された接続先に接続します。
3	テーブル名	文字	128	テーブル名を部分一致で検索します。
4	テーブル別名	文字	80	テーブル別名を部分一致で検索します。
5	テーブル別名設定	-	-	テーブル別名のあり/なし(利用表の定義済/未定義)による、検索条件を以下より選択します。 ・全て ・あり ・なし

2. 入力後、[検索] ボタンをクリックする

【利用表定義一覧画面】



【項目の説明】

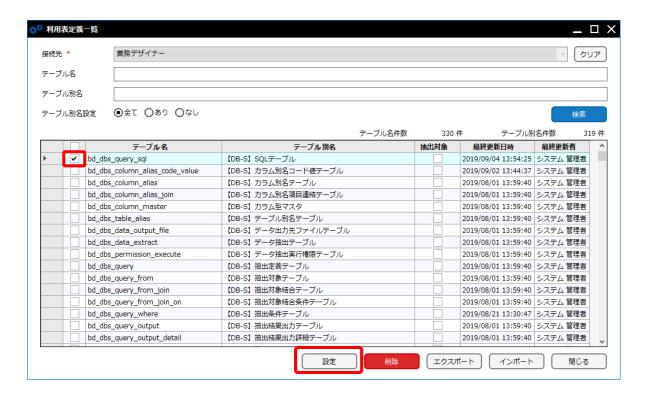
No.	項目名	説明
1	設定	クリックすると、利用表定義画面が表示されます。選択した行をダブルクリックした場合も同様です。
2	削除	クリックすると、選択した行の利用表定義を削除します。
3	エクスポート	クリックすると、選択した行の利用表定義をファイルにエクスポートします。
4	インポート	クリックすると、利用表定義インポート画面が表示されます。

☆ポイント 禁則文字を使ったテーブル・カラムについて

禁則文字(「'」・「:」)を使ったテーブルやカラムは、データ抽出定義で使用できないため、 利用表定義を設定できません。

利用表定義の設定

1. 利用表定義を選択し、[設定] ボタンをクリックする



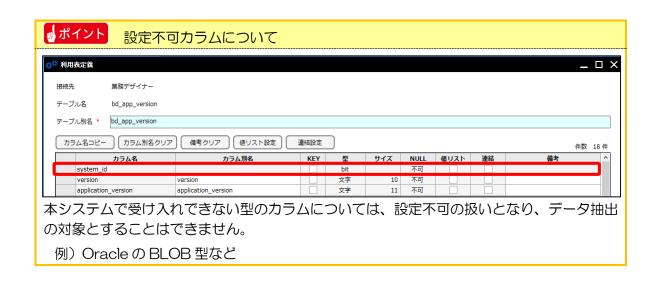
2. テーブル及びカラムの別名を設定する

【利用表定義画面】



【項目の説明】

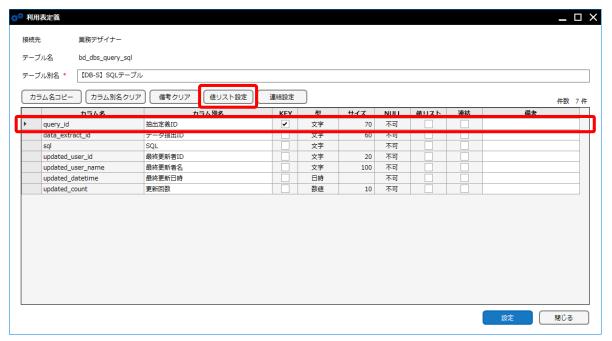
No.	項目名	型	桁数	説明
1	テーブル別名	文字	80	本システムで表示するテーブル名を入力します。
2	カラム名コピー	-	-	クリックすると、すべての行の「カラム名」を「カラム別名」に上書きします。
3	カラム別名クリア	_	_	クリックすると、すべての行の「カラム別名」をクリアします。
4	備考クリア	_	-	クリックすると、すべての行の「備考」をクリアします。
5	値リスト設定	_	_	クリックすると、選択行の値リスト設定画面が表示されます。
6	連結設定	_	_	クリックすると、選択行の連結設定画面が表示されます。 連携設定ボタンは、接続先が「業務デザイナー」の場合のみ表示されます。
7	カラム別名	文字	60	本システムで表示するカラム名を入力します。
8	値リスト	_	_	値リストが設定されている場合、チェックが表示されます。 ※マスター定義のマスターでリスト型の場合は、チェックされています。
9	連結	_	_	連結設定が設定されている場合、チェックが表示されます。
10	備考	文字	80	備考を入力します。
11	設定	_	-	クリックすると、利用表定義の設定ができます。



3. 値リストを設定する場合

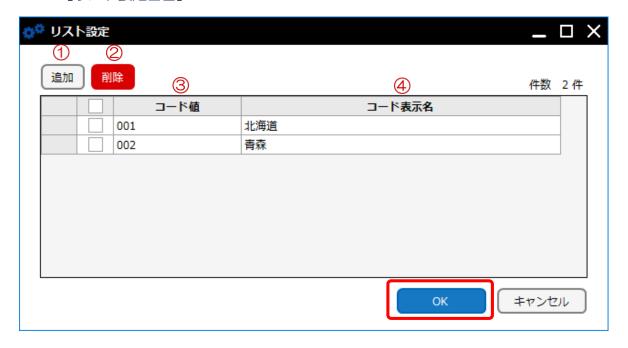
データ抽出時に、実際の値だけではわかりづらい内容を置き換えるために、表示名の設定を行う機能です。

3-1. カラムを選択し、[値リスト設定] ボタンをクリックする



3-2. リストを設定し、[OK] ボタンをクリックする

【リスト設定画面】



【項目の説明】

No.	項目名	型	桁数	説明
1	追加	-	-	クリックすると、最終行に新規行が追加されます。
2	削除	_	-	クリックすると、口にチェックした行を削除します。複数行の削除が可能です。
3	コード値	文字	10	コード値を入力します。
4	コード表示名	文字	100	コード表示名を入力します。

→ ポイント マスター定義の値リストについて

マスター定義で設定されたマスターにリスト型が設定されている場合は、リスト設定画面に設定内容が初期表示されます。

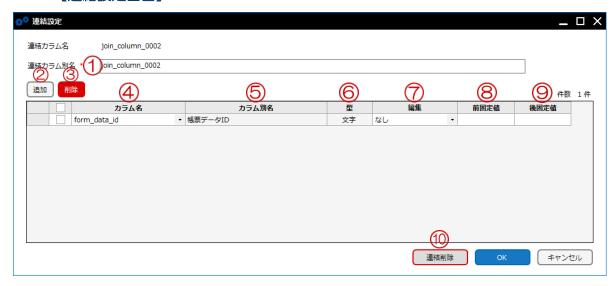
4. 複数カラムの連結設定をする場合

複数のカラムを連結して1つのカラムにするための設定を行う機能です。

4-1. [連結設定] ボタンをクリックする



【連結設定画面】



【項目の説明】

No.	項目名	型	桁数	説明
1	連結カラム別名	文字	60	連結されて新しく定義されるカラムの別名を入力します。 自動で設定されるカラム名が初期表示されます。
2	追加	_	-	クリックすると、最終行に新規行が追加されます。
3	削除	-	_	クリックすると、口にチェックされた行を削除します。複数行の削除が可能です。
4	カラム名	_	-	連結するカラムをリストより選択します。
5	カラム別名	_	-	選択した[カラム名]のカラム別名が表示されます。
6	型	-	-	選択した [カラム名] の型が「数値」、「文字」、「日付」、「日時」、「時刻」のいずれかで表示されます。
7	編集	_	-	[型] が「文字」の場合に、設定されている文字列の前後のスペースをどのように編集するかを以下のリストより選択します。なし前スペースカット後スペースカット前後スペースカット
8	前固定値	文字	10	カラムの値を連結する際に、該当カラムの前に付与する固定文字を入力します。
9	後固定値	文字	10	カラムの値を連結する際に、該当カラムの後ろに付与する固定文字を入力します。
10	連結削除	-	-	クリックすると、設定済の連結設定が削除されます。

4-2. [OK] ボタンをクリックする

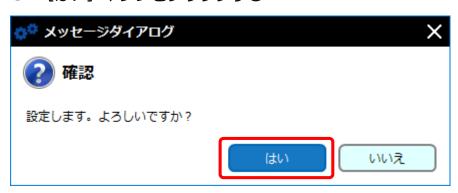
す。

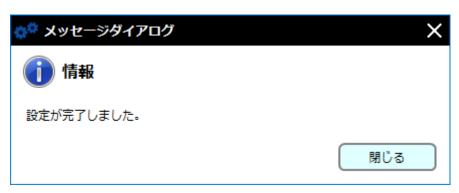


5. [設定] ボタンをクリックする



6. [はい] ボタンをクリックする



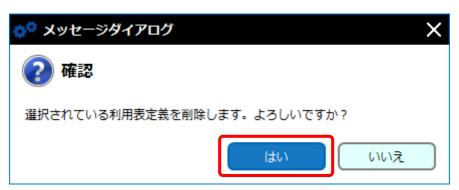


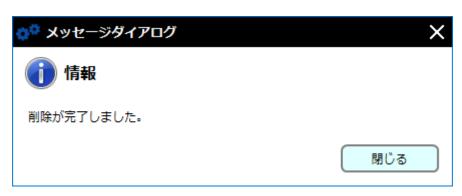
利用表定義の削除

1. 利用表定義を選択し、「削除」ボタンをクリックする



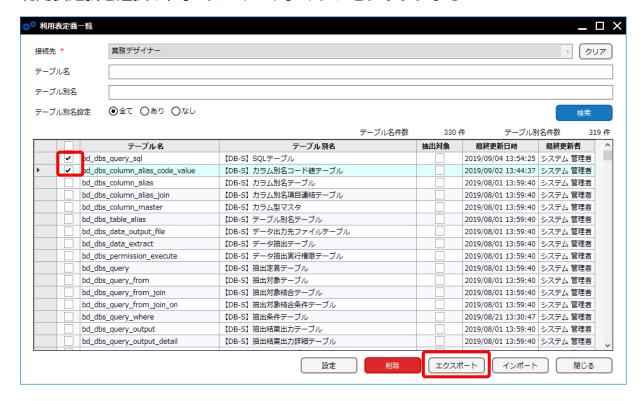
2. [はい] ボタンをクリックする



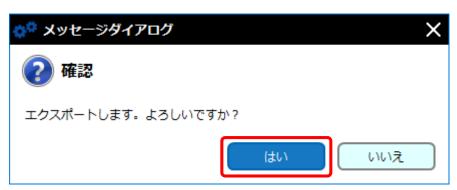


利用表定義のエクスポート

1. 利用表定義を選択し、[エクスポート] ボタンをクリックする

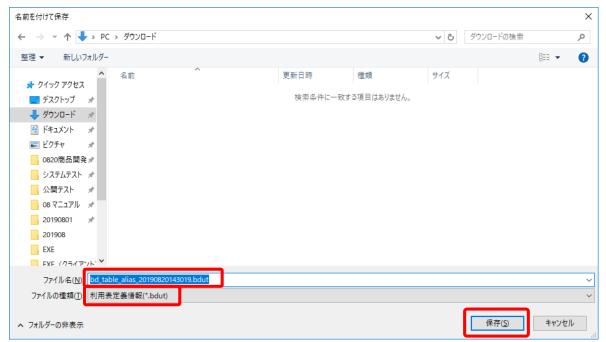


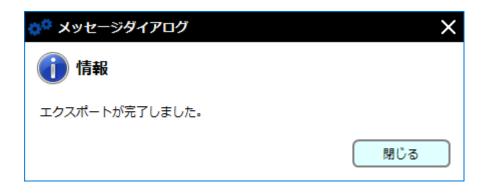
2. [はい] をクリックする



3. 任意の場所に名前を付けて [保存] をクリックする

ファイルの種類は〔利用表定義情報(*.bdut)〕として保存されます。



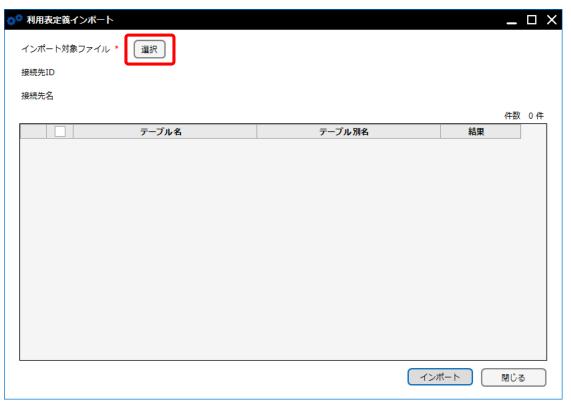


利用表定義インポート

1. [インポート] ボタンをクリックする

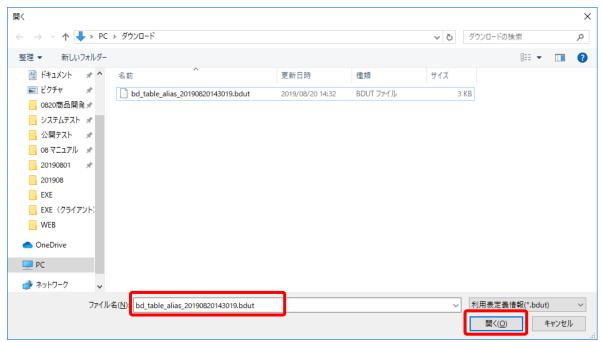


2. [選択] ボタンをクリックする

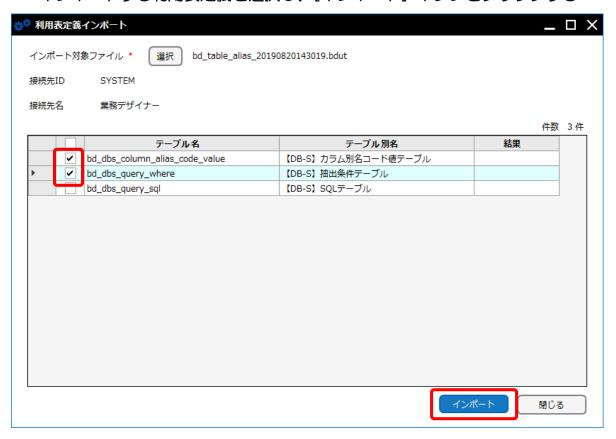


3. インポートするファイルを選択する

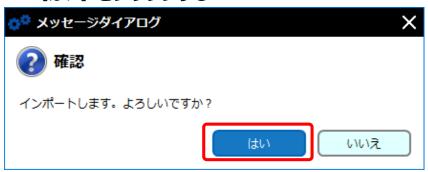
インポートするファイルを選択し、[開く]をクリックします。

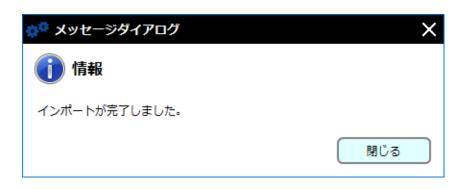


4. インポートする利用表定義を選択し、[インポート] ボタンをクリックする



5. [はい] をクリックする





書 名:業務デザイナー 機能説明書(利用表定義編)

発行元:株式会社ユニオンシンク 発行日:2021年12月20日

©2021 UnionThink CO.,LTD.